

気は焦るがなかなか進まない。浦幌中学校。



左上から時計回りで上浦幌小学校、厚内小学校、厚内幼稚園、上浦幌幼稚園。

各校で運動会・体育祭 歓声が響きわたる

5月29日、浦幌中学校で体育祭が開かれました。時々雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、父母など大勢の観客の声援を受け、子どもたちは、リレーや棒たおし、タイヤとりなどに熱戦を展開しました。ユーモアあふれる応援合戦では、会場全体が笑いの渦に包まれました。5月下旬から6月上旬にかけ、町内の幼稚園、小・中学校で運動会・体育祭が開かれます。春の風物詩です。運動会が終わるといよいよ本格的な夏を迎えます。

1 塩村ヘサヲさん 100歳おめでとう!!

6月2日、満100歳の誕生日を迎えられた塩村ヘサヲさんに、八木町長から敬老祝金が手渡されました。



子 親子連が防犯ブザーを寄贈 子どもたちの安全のために

6月1日、浦幌町地域子ども会育成連絡協議会（島田辰彦会長）が、設立20周年記念事業の一環として、町内の全小・中学生497人に防犯ブザーを寄贈しました。子どもが被害者となる事件が多発していることや町内でも不審者の目撃情報が寄せられていることなどから、犯罪を未然に防ぎ、登下校時の安全を確保しようと、防犯ブザーを配布しました。この日は、島田会長らが浦幌小学校を訪れ、2年生34人に手渡しました。児童たちは「へんな人や危ない目に遭ったら必ず鳴らします」とプレゼントを喜んでいました。

使うことが無いよう願っています。



酪 デンマーク大使館公使が視察 農生産の違いについて意見交換

6月16日、町内で大規模酪農経営を行っている(有)ランドハート(菊地利憲代表取締役)に、デンマーク大使館の農業を担当するトラウトナー公使が農業事情視察調査に訪れました。

同公使は、十勝の酪農振興状況を視察するため来勝。帯広市で酪農教育ファームに取り組んでいる廣瀬牧場も視察しました。菊地代表から、飼養頭数や出荷乳量などの概要と施設の特徴などの説明を受けた後、施設内を見学しました。同公使は生産調整の状況や管理体制などについて質問していました。



牛舎内で説明を受けるトラウトナー公使。

浦 ㈱サクシンが園児にプレゼント 幌幼稚園のグラウンドを芝生化

5月23日、㈱サクシン(上谷内信雄代表取締役)が、浦幌幼稚園のグラウンド約400㎡を芝生化しました。芝生の製造・施工を行う同社は、教育環境の整備に貢献したいと考え、各幼稚園・学校に芝生化の照会を行っていました。

同園は「芝生の効果は大きい。野外での遊びを積極的に取り入れていきたい」と話していました。

同社では、「今後も各校の要望に積極的に対応、校庭の緑化に取り組んでいきたい、裸足でおもいっすり遊んでほしい」と話していました。



フワフワな芝の上で給食を食べる園児。

女性連が種まき コスモロード

6月15日、女性団体連絡協議会(北村敦子会長)は、森林公園へ向かう町道沿いの緑地帯にコスモスの種を撒きました。

「みのり祭りに訪れる人を美しく咲き乱れるコスモスでやさしく迎えたい」とコスモスロードを計画。町と町コミュニティ運動推進協議会(野村俊博会長)の協力を得て実施しました。緑地帯の延長は250mで、3か年程度で全延長を整備する予定。



商工会女性部 ベビーカーを寄贈

6月16日、町商工会女性部(阿部和子部長)は、設立35周年記念事業の一環として、しらかば保育園に4人乗りのベビーカーを寄贈しました。

ベビーカーは、生後6か月から2歳ぐらいまで使える対面式で、同園では、「3~5才児と一緒に遠くまで散歩することができるようになりました。園児も一緒に散歩できることを楽しみにしている」と話していました。



社会教育委員の会議 社会教育振興のため

6月17日、第1回町社会教育委員の会議が、中央公民館で開かれ、今年度の社会教育事業計画について審議しました。

会合ではこのほか、任期満了に伴う新委員への委嘱状が交付され、橋本友子氏が委員長、斉藤博氏が副委員長に互選されました。また、町は今年度、社会教育の振興をはかるため、平成18年度から5年間にわたる「第6期浦幌町社会教育中期計画」を策定する予定です。

